

豊洲市場

2016年(平成28年)11月7日開場!

豊かな大地の恵みを豊洲市場から。

豊洲市場は、2016年11月7日に開場し、業務を開始します。

東京シティ青果は、築地で培ってきたプロの技術と優れた機能、
継承してきた伝統文化とともに豊洲市場へ移ります。

生産者の皆さまが、豊かな自然を活かし、丹精こめて作った青果物を、
豊洲市場から、東京都民をはじめ多くの消費者に届けます。


豊洲市場で、東京シティ青果はどのような活動をするのか、
その具体的なビジョン、豊洲市場の先進設備が皆さまにどう役立つのかなどを、
これからご紹介してまいります。



2015年8月22日撮影

写真提供：東京都中央卸売市場

生産者と消費者を結ぶ

 東京シティ青果株式会社

もっと販売先を増やしたい、 もっと価値のある商品がほしい、 もっと新鮮な野菜や果物が食べたい。

東京シティ青果は、こういった産地、販売企業、
消費者の皆さまの声を実現するために、豊洲市場開場とともに、
卸売会社としての社会的使命を果たしながら、
青果物専門商社という考え方で、
生産者と消費者の皆さんを結ぶ、時代に適応した
新しい青果ビジネスを展開してまいります。



5つの具体的なビジョンで、 新しい青果ビジネスを実現します。

いま青果を取りまく環境は、食の安全・安心への意識の高まり、消費者ニーズの多様化、
TPPなどによる生産体制の変化、インターネットによる販売の増加など、激しく変化しています。
東京シティ青果はこうした環境をふまえ、5つの具体的なビジョンのもと、
皆さまのお役に立つビジネスを実践いたします。

ビジョン1

ボリュームゾーンの販路拡大

築地市場の得意分野である、業務筋への最高級商品、促成品納入のさらなる充実とともに、これからの食の外部化を見据えながら、消費量の多いボリュームゾーンへの販路拡大を図ってまいります。

ビジョン4

消費者に向けたネット販売の強化

現在も築地市場においてネット販売企業が業務していますが、豊洲市場では、ネット販売の強化を目指し、これら企業様に事前型企画提案を通してサポートしてまいります。

ビジョン2

スーパーマーケットのシェア拡大

消費者が食材購入でもっとも利用するスーパーマーケット各社様に対し、商品・販促企画などご満足いただけるご提案とともに、納入品目、数量をさらに拡大することを目標にいたします。

ビジョン5

コンビニの多様化に向けた対応

今や消費者の暮らしに欠かせないコンビニ。各企業様とも、顧客獲得のために常に多様な提案をしています。その営業計画にあわせ、青果ジャンルにおいてニーズに即応できる商品供給、企画提案などをしてまいります。

ビジョン3

小口買出しへの対応の推進

消費者の食生活を満足させるためには、青果専門店やレストランなど、小口買出しへの対応の充実が大切です。青果物専門商社として、産地、販売先との調整を図りながら、季節にあわせて、多様な商品提案をしてまいります。



「築地ブランド」から「豊洲ブランド」へ。

築地市場と豊洲市場を比較すると、広さが約1.7倍になるだけでなく、様々なことが便利になります。首都圏のハブ市場として、都民の台所として、新しい「豊洲ブランド」が誕生します。



2015年11月11日撮影

【築地市場と豊洲市場の比較】		
	築地市場	豊洲市場
敷地面積*	約23.1ha	約40.7ha
取扱数量	1,028t/日(2014年実績)	1,300t/日(目標数値)
施設構造	開放型でほぼ常温	平床式・完全閉鎖型で温度管理
荷捌方法	場内各所	施設内で一括運用
待機駐車場	なし	あり

*青果、水産施設全体

商品価値が高まり、物流が効率的になります。

ここが便利①

商品の鮮度を保持するコールドチェーン対応施設。

場内は、一連の温度管理(コールドチェーン)がされ、自動立体低温倉庫など、商品の鮮度保持とともに、ほこりや外気温、排ガス、小動物の害等を遮断し、衛生管理が徹底されます。



青果棟(2015年11月撮影)

ここが便利②

時代のニーズに応える、安全・安心な物流施設。

豊洲市場の3階に、安全・安心な物流施設の開設を予定しています。ここでは商品の小分け、加工パッケージなど、お取引様のニーズにあわせて、安全・安心を確保して行ない、商品の付加価値を高めます。



1階 卸売場(2015年10月撮影)※

ここが便利③

安全、環境に配慮した、効率的な物流システム。

場内はわかりやすい動線で、スムーズな搬入搬出ができるようになります。荷捌きスペースと連動し、売場と一体化したレイアウトによって作業効率もアップします。



1階 搬出入口(2015年10月撮影)※

ここが便利④

水産卸売市場と直結した、世界最大級の総合市場。

青果棟、水産仲卸棟、水産棟が、ゆりかもめの市場前駅から、歩行者デッキで結ばれる予定です。世界最大級の市場には見学コースができ、集客施設(予定)とともに、国内外からの多くの人々に商品をアピールできます。



1階 仲卸売場(2015年9月撮影)※

ここが便利⑤

新しい情報の受発信拠点としての活用。

産地から、お取引先の方々への情報発信拠点として、お取引先の皆さんは、消費者のヒアリング拠点として、テストキッチンなど各種施設が活用できます。東京シティ青果からは、ビジネスに有益な最新情報をリアルタイムで発信します。

より便利なアクセスを目指し、 着々と整備事業を行っています。

全国からの配送トラック、近隣からの買出し、一般客の来場など、豊洲市場へスムーズに、
便利にアクセスできるよう、道路整備、交通機関の整備など、東京都が着々と整備推進を行っています。



2015年11月11日撮影



《豊洲市場へのアクセス》

- 首都高速道路をご利用の方
首都高速10号線・豊洲インターチェンジから1分
- JR新橋駅からご利用の方
タクシー約15分(約1,800円)
※なお、新橋駅から都営バスの運行を調整中です。
- JR有楽町駅からご利用の方
地下鉄有楽町線・有楽町駅から豊洲駅 8分(170円)
→新交通ゆりかもめ:豊洲駅から市場前駅 2分(190円)
- JR東京駅からご利用の方
タクシー約20分(約2,200円)
- 羽田空港からご利用の方(乗り継ぎ例)
東京モノレール:羽田空港第1・第2ターミナル駅から浜松町駅20分(490円)
→JR浜松町駅から新橋駅2分(140円)
→新交通ゆりかもめ:新橋駅から市場前駅28分(380円)
※乗り換え時間は含みません
タクシー約30分(約6,000円)
※首都高速道路利用
- 大田市場から移動される方
タクシー約20分(約5,000円)
※首都高速道路利用

■豊洲市場開場までのスケジュール



●このパンフレットは、2015年11月20日現在のデータをもとに作成しています。